

ご寄附ありがとうございます

株式会社儀間建設

1月12日、株式会社儀間建設の儀間 清代表取締役が大田町長を訪れ、大田昌秀氏顕彰事業に役立ててほしいと、寄附金10万円を贈呈しました。大田町長は「大田昌秀先生の顕彰事業に有効に活用したい」と感謝を述べました。

大田昌秀先生顕彰事業の募金活動いよいよ3月31日まで

寄附のご支援をよろしくお祈いします

顕彰事業の募金額は、1月31日の時点で町内外約200社、個人約300人から総額約1,500万円の募金がありました。目標額は2500万円です。ご支援をよろしくお祈いします。

【連絡先】大田昌秀先生顕彰事業事務局（久米島図書館内） ☎098-987-7051



青空の下で

くめじまーけっと朝市

2月13日、久米島町トライアルサウンディングを利用して、(一社)くめじまDMO主催による「くめじまーけっと朝市」が、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ヒューマン&アソシエイツとの共同で開催されました。今回で2回目となる朝市は、あじま～館中庭にて開催され、新鮮野菜の即売会、食料品販売、キッチンカーによるフード販売を行い、多くの来場者で賑わいを見せました。

町内で松食い虫(マツノザイセンチュウ)の被害が確認されたことで、松食い虫対策として、1月に国指定天然記念物の久米の五枝のマツの薬剤樹幹注入作業を行いました。

五枝のマツについては、毎年樹木医の診断を行っています。五枝のマツの現状は、老木であり、根の状態も悪く生育が見られないことに加え、過去のシロアリ被害等により、空洞化している幹や枝も多いということが分かっていきます。枝葉を見ると元気に見えているようで気づきにくいかもしれませんが、過去の写真と見比べると年々樹勢が衰えてきているというのが現状です。

国指定の天然記念物ということもあり、今回の薬剤の樹幹注入は専門業者に依頼しました。今回樹幹注入を行った薬剤メーカーの担当者は、全国各地の名松を診てきている専門家、初めて見る五枝のマツについて、かなり立派な松だと驚いておりました。しかし、かなりの老木であり、空洞化の進行により、枝によっては薬剤注入を行うことが困難な箇所が多く、すべての枝に処置することはできませんでしたが、できる限りの処置を行いました。



お問合せ 久米島博物館 ☎896-7181



久米の五枝のマツの 松食い虫対策へのご協力について

久米島のシンボルとしてこれまでも島民に親しまれてきた松であり、町民のみなさんもたくさん思い出がある松だと思えます。次世代まで五枝のマツを残せるように、できる限りの管理を行っていく予定です。今後の予定としては、松食い虫を運ぶマツノダカラカミキリが活動する春から夏にかけて定期的に薬剤の散布作業を行っていきます。散布については公園内への立入禁止や利用制限を行うため、ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお祈いいたします。